

【関連する職種（一般の呼称）】	
吹き付けのある部屋等で行う作業に関する様々な職種	
【石綿製品（代表的な2,3）】	
石綿吹きつけ材、石綿含有岩綿吹きつけ	石綿フェルト
石綿含有パーミキュライト吹きつけ	石綿含有パーライト吹きつけ
【労災認定事例】	【文献(p119,122)】74,103-106

石綿含有の吹きつけがある建物等で、吹き付けた壁をこすったり、破損したり、あるいは自然劣化により、石綿繊維が空气中に飛散する場合があります。そのような環境の中で、長い期間、あるいは繰り返し業務を行うことによって、低濃度ではあるものの長期に石綿にばく露されている場合があります。

石綿含有の吹きつけがある建物で働く職種を特定することはできませんが、石綿の特質である耐熱性（鉄鋼、ガラス製品製造、調理場など熱を発生する職場）、防音性（印刷業、劇場、学校など、外部からの騒音を遮断し、又は建物内の騒音が外に漏れないようにする必要のある職場）、防湿性（発電所、倉庫など結露を避けたい職場）、耐腐食性（化学工場、製油工場、畜舎など、酸アルカリなどの腐食性物質の存在する職場）、絶縁性（発電所など電気を発生する職場）等の条件が必要な職場環境においては、石綿の吹きつけが使用されている可能性が比較的高い職場と考えられます。



A 吹きつけ石綿のある建物の工事例で電気・衛生・建築業者が作業しました。吹きつけ石綿が除去され赤い鉄骨が見えますが、作業をした際に石綿にばく露した可能性があります。



B 大病院の厨房。厨房は火を使う場所ですので、防火や結露防止の目的で石綿の吹きつけがされていることが多いです。こは、天井に石綿が吹きつけられています。



C 学校の実験室の天井に吹きつけ石綿があります。パーナーやアルコールランプなど火を使うため、耐火・結露防止目的と考えられます。一部、大きく脱落している箇所があり、露出した破損部から飛散した石綿に、教員が長期にわたってばく露した可能性があります。



D 工具室。なんでも直せるように電動工具や小道具が揃っています。石綿糸や布もありましたが壁と天井に吹きつけられている青石綿のほうに影響は大きいと考えられます。

掲載した写真はイメージ写真です



店舗、ヘヤーサロン、ゲームセンター等の耐火被覆の露出天井。石綿含有吹きつけの場合、劣化や損傷により石綿繊維が飛散し、このような環境で労働をした従業員が長期にわたってばく露をする可能性があります。



ある工業部品の倉庫の屋根、梁(はり)に石綿が吹きつけられています。倉庫の荷物の出し入れの際に壁を損傷したり、自然劣化等により、石綿が飛散し作業員がばく露する可能性があります。



倉庫の壁に青石綿が吹き付けられていますが、経年劣化しており、飛散しやすい状況でした。この倉庫に、業務のために毎日数回出入りをされていた方が中皮腫を発症されました。

温泉の風呂場の天井は、湿気を吸ったり吐いてくれる調湿効果があるので、石綿の吹きつけがしばしば行われました。自然劣化や破損等により、風呂場を掃除していた作業員等がばく露した可能性があります。

掲載した写真はイメージ写真です